

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【宮前中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	⇒ 令和4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語・数学の「知識・技能」において3pt向上させる。
思考・判断・表現	⇒ 令和4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語・数学の「思考・判断・表現」において2pt向上させる。
主体的に学習に取り組む態度	⇒ 令和5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を88%以上にする。(R4は約85%) 全ての授業において、ICTの活用を進める。Teamsの機能やミライシード、ジャムボードなどを活用した授業を行い、生徒の主体的な学習や協働的な学習を実現し、課題解決に多く取り組ませる。

次年度に向けて
(3月)

目標・策の設定
(4月)

年度末評価

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	<p>調査結果分析(2月)</p> <p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

結果提供(2月)

さいたま市学習状況調査

<小3~中3>(1月)

児童生徒の
学力の
向上



② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	全国の平均正答率と比較すると、国語が+2pt、数学が-1pt、英語が+8ptであった。数学ではデータの活用領域で課題があり、特に四分位範囲の意味を理解しているかをみる問題で正答率が低かった。
思考・判断・表現	全国の平均正答率と比較すると、国語が+6pt、数学が+1pt、英語が+5ptであった。英語では、日常的話題について必要な情報を読み取る問題で課題が見られた。一方で、聞くことについては、平均正答率を大きく上回っていた。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が89%であり、目標値を上回った。ICTを効果的に活用した授業を継続し、さらに生徒の主体性を高めていきたい。

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

③分析共有(児童生徒の実態把握)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	⇒ 変更なし

中間評価(9月)
目標・策の見直し